



「とよた市民の会」会報 第4号発行にあたり

平成23年10月に発行しました豊田市議会「とよた市民の会 会報」第3号に続き、第4号を発行するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

「とよた市民の会」は、現在、所属議員は私ひとりです。しかし、議会でも存在感のある会派として、市民本位の市政を実現すべく活動してまいります。

そこで、今後も年に一度、会派広報紙である「とよた市民の会 会報」を発行し、市民の皆様にさまざまな情報を発信してまいります。また、皆様の生の声を発信する場としても、本紙を活用していきたいと思っております。市政、市議会とともに本会報に対するご意見、ご要望、ご質問等がございましたら、お気軽にお寄せください。よろしくお願い申し上げます。

豊田市議会 「とよた市民の会」 代表 岡田 耕一

とよた市民の会 9月議会 主な議案への対応

賛成



市立寿恵野こども園園舎新築工事の請負契約 4億4,205万円

本議案は、45名全会一致で可決

待機児童対策を図ることを目的に市立寿恵野こども園園舎を既設園舎の北側に新築するもの。定員が100名増、その内乳児定員は17名から50名に増。待機児童解消に期待する。

また、7月1日からの「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」の施行を受け、本園舎は木造建築となる。木のもたらす、やすらぎと温もりのある快適な公共空間を子どもたちに提供されると期待する。なお、コストアップもなく、適切な予算であると評価する。

反対



ジュゼッペ ペノーネ作《黒鉛の皮膚・方鉛鉱の影》を3,950万円で取得

本議案は、44対1の賛成多数で可決

ペノーネ氏は、現代欧州を中心とする美術活動の流れである「アルテ・ポーベラ」の中心的な作家。作品は本人から取得。他美術館などから収集のオファーが複数あり、他への転売が懸念されるようになったこと、ユーロ安が進み、安価に購入できる状況になり、今が取得のタイミングであると判断したという。

しかし、経済が好転しない状況下での高額美術品の購入に対し、多くの皆さんから、厳しい声をいただいております。市民理解を得られるものではないと考える。

豊田市議会主催 地域市議会報告会&議会シンポジウム が開催されます

会場にかかわらず、どなたでも無料でご参加できます。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

地域市議会報告会

日時:①②平成24年11月3日(土)14時~15時30分

会場:①高岡コミュニティセンター ふれあいホール(定員:500名)

②小原交流館 ホール(定員:350名)

内容:★9月議会における

主な議案

★意見交換会



市議会シンポジウム

日時:平成24年11月10日(土)14時~16時

会場:高橋コミュニティセンター 大会議室(定員:300名)

内容:第1部/基調講演「眠る、食べる、そして歩く」

中京大学教授 湯浅景元 氏

第2部/パネルディスカッション

コーディネーター 湯浅景元 氏

パネリスト予定者

○豊田加茂医師会 ○豊田市職員 など

1.PCB廃棄物処理事業の今後 ～どうなる未処理のPCB廃棄物。その処理は…～ (答弁は末継環境部長)

テーマ選定理由 ポリ塩化ビフェニール(PCB)は、毒性が強いため、製造を禁止されている。その廃棄物処理は国家事業として、全国5処理施設(室蘭、東京、豊田、大阪、北九州)を設置し、平成28年7月を事業完了と定めて推進してきた。しかし、豊田事業所(細谷町)を含む各施設では、度重なる事故等で、幾度となく運転停止を繰り返し、PCB廃棄物の処理は順調に進んでいない。その結果、計画通りに事業完了できないことが判明した。そこで、豊田市長は、豊田事業所の許可権者であるが、その立場から、この事業にどのように対応していくのかを市に確認した。



豊田事業所 パンフレットより

おかだ 豊田事業所は、愛知、岐阜、三重、静岡県内に存在するPCB廃棄物を処理する。処理能力は日量1.6tで主に高圧トランス、高圧コンデンサなどを処理している。各区域それぞれのPCB廃棄物の保管状況、処理状況は。



トランス コンデンサ

おかだ 廃業された事業者等を含む未処理のPCB廃棄物を紛失させないために国等の責任において、一時保管する中間処理施設等の考えはないのか。

答弁

「検討委員会」でとりまとめられた報告書には、おかだ議員ご指摘の国等によって中間処理施設を設置するなどの具体策の記載はない。また、この報告書に記載された対策以外に、未処理のPCB廃棄物を紛失させないための対策について国から何も聞いていない。

PCB廃棄物の保管状況、処理状況は以下の通り。

	トランス		コンデンサ	
	登録数	処理率	登録数	処理率
記載のないものはH23年度末時点	登録数	処理率	登録数	処理率
豊田市役所 (豊田事業所では処理できないもの)	残り 19台	できるものは 100%	残り 56台	できるものは 100%
上記を除く豊田市内の事業所等 H22年度末時点	414台	100%	2,065台	81.1%
愛知県内の事業所等	765台	83.1%	20,198台	62.8%
岐阜、三重、静岡、各県の事業所等	1,819台	32.9%	22,887台	17.9%

答弁

おかだ 当初の予定期限には事業完了できないことから、検討委員会では、PCB廃棄物処理の推進策として施設の改造、他の事業所が得意とする能力の活用、処理期限の延長などの方策をまとめた。それに対する本市の所見と対応は。また、対策案に示された方策等に対する所見は。それらを認めるのか。

答弁

今は検討委員会から環境省に処理推進策が報告された段階である。現時点では、国から本市に対して何ら通知等が来ていない状況なので、処理推進策の案に対する所見を述べる段階ではないと考えている。

おかだ PCB廃棄物の有無について調査不能な事業者等があるとすれば今後どのように調査するのか。

答弁 PCB特別措置法により、PCB廃棄物の保管の届出が全ての事業者等からなされていると認識している。現時点では、それ以上の調査を市独自に行う考えはない。

おかだ耕一の意見 国の事業ということで、豊田市が慎重な姿勢をとることは理解できる。ただ、処理完了が遅れることによるリスクをしっかりと考え、市民の安全・安心の観点から、市として可能な限りのPCB廃棄物の紛失防止等の取組と処理事業における事故の再発防止と情報の開示を期待する。

市政に関するさまざまな疑問、質問、要望、情報等お気軽にお寄せください。

発行会派／豊田市議会とよた市民の会
豊田市西町3-60 豊田市議会内
TEL/34-6665 内線 (38068)
FAX/34-6566

連絡先

《発行責任者》
岡田 耕一 豊田市宝来町4-758-141
TEL/090-1752-7529 FAX/88-9194
http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org